

地域力アップに向けた学区内連携のポイント（案）

～「地域力アップ学区活動連携支援事業」で見えてきたこと～

①情報の共有が出来ていること

到達点

- ① 各種団体間等が連携の必要性を認識している。役員間で共有ができています。
- ② 地域住民が各種団体等の役割、活動内容を知っている。



（必要な取組等）

- ① 主要役員が集まる場があること
- ② 情報発信ができています（広報誌の発行、町内会ワークショップ等）

②地域の目指す未来像が共有されていること

到達点

- ① 各種団体間等で協議できる場があり、未来像の共有ができています。



（必要な取組等）

- ① 民主的な合意形成の場づくり
 - ・未来に向けた話し合い
 - ・多様性を認める（相互理解、尊重）
 - ・フラットで自由な意見が言える（全員参加、透明性・公平性の確保）
- ② 定期的な開催（顔を合わせる場をつくること）
- ③ 目的の明確化、意思決定等の仕組みの可視化、

③地域メンバーの役割分担ができています

到達点

- ① 各種団体間で協議して決めている。
- ② 参加者が納得し、協調して活動している。



（必要な取組等）

- ① 個性や強みを知り、それを活かした役割を担えること
- ② 役割分担に伴って人材の掘り起こしや育成ができるようにすること

④主体性を持って参加されていること

到達点

- ① 自分事として主体的に行動している。



（必要な取組等）

- ① 「何のために活動を行っているか」を伝え続けること
- ② 民主的な合意形成の場づくりにおいて、話し合いを重ね、事業目的をしっかりと納得できるようにすること

効果的な
イベントの実施

イベントの位置付け・効果

- ・目標達成や課題解決のきっかけにできる
- ・新しい人、組織の参加や連携の促進
- ・地域人材の育成